初級文型Ⅰ・Ⅱ　文型抜出例

文型抜出しは、理論科目の『初級文型Ⅰ』と『初級文型Ⅱ』の提出課題です。実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・実践評価法の授業を履修後、文型抜出しⅠ・Ⅱを提出すると教育実習登録が可能になります。また、実践Ⅰの受講前までに文型抜出Ⅰを実践Ⅱまでに文型抜出Ⅱが完成していると、実践の授業がよりスムーズに受講が期待できます。また視聴後すぐにまとめていった方が忘れませんから、視聴後間を空けずに作成することを推奨致します。

課題：初級文型Ⅰに対する課題　『文型抜出Ⅰ』

みんなの日本語第１課～第２５課までを課別に『新出文型』、『代入例』、『新出語彙』、『メモ』の欄を用意しまとめなさい。

課題：初級文型Ⅱに対する課題　『文型抜出Ⅱ』

みんなの日本語第２６課～第５０課までを課別に『新出文型』、『代入例』、『新出語彙』、『メモ』の欄を用意しまとめなさい。

ここでは、第１課と第２６課の作成例を取り上げています。作成の一例にお役立てください。尚、フォーマットは自由フォーマットです。作成内容で評価をしますが、フォーマット形式で評価されることはございません。

文型抜出Ⅰ作成例　第１課

文型	対応する語		新出語彙	Note
①N1 は N2 です。 ②N1 は N2 じゃありません。 ③N1 は N2 ですか。 －はい、N2 です。 －いいえ、 N2 じゃありません。 ④N1 は N2 の N3 です。 ⑤N1 は N2 です。 N3 も N2 です。 ⑥N1 は N2 ですか。	①② 【N１】 わたし (あなた) あの人(方) ○○さん ③ 【N１】 あなた あの人(方) ○○さん ④⑤ 【N１】 わたし (あなた) あの人(方) ○○さん ⑥ 【N１】 あなた あの方 あの人 ○○さん ○○ちゃん ○○くん	①②③ 【N2】 名前 職業 ○○人 ④ 【N2】 大学名 会社名 ④ 【N3】 職業 立場 ⑤ 【N2】 職業 ○○人 ⑥ 【N2】 助数詞 ○○歳	【名詞】 わたし、わたしたち あなた あの人(方) ～さん ～ちゃん ～くん 学生 会社員、社員 銀行員 大学 医者 教師、先生 研究者 ～人(じん) ～歳 病院 電気 〔名前〕 〔会社名〕 〔学校名〕 【疑問詞】 だれ、どなた 何歳 はい、いいえ お名前は？	・名詞述語文 ・敬称「～さん」 ※自分には「さん」を付けないように教える。 ・否定文は、 「じゃありません」に統一する。 【助詞】 「は」主格を表す。 「の」所属を表す。 「も」同類・追加を表す。 ・「～ですか」などの疑問文の時に「？」は使わない。 ・名前が分かっている人に「あなた」は使わない。 ・目上の人、初対面の人に「だれ」は使わない。 「どなた」を教える。 【フレーズ】 はじめまして。 どうぞよろしくお願いいたします。

文型抜出Ⅱ作成例　第 26 課

文型

①【普通形】んです。

い形(普通形)＋んです。

＊な形(普通形だ→**な**)＋んです

＊名詞(普通形だ→**な**)＋んです

②N が【普通形】んですか。

N を【普通形】んですか。

③どうして【普通形】んですか。

……【普通形】んです。

④【普通形】んです。

⑤【普通形】んですが、

V ていただけませんか。

⑥【普通形】んですが、

どこで
どう　V たらいいですか。

[動詞] 例

	肯定	否定
現在	行く	行かない
	買う	買わない
過去	行った	行かなかった
	買った	買わなかった

[い形容詞] 例

	肯定	否定
現在	寒い	寒くない
	痛い	痛くない
過去	寒かった	寒くなかった
	痛かった	痛くなかった

＊[な形容詞] 例

	肯定	否定
現在	きれい**な**	きれいじゃない
	元気**な**	元気じゃない
過去	きれいだった	きれいじゃなかった
	元気だった	元気じゃなかった

＊[名詞] 例

	肯定	否定
現在	病気**な**	病気じゃない
	誕生日**な**	誕生日じゃない
過去	きれいだった	きれいじゃなかった
	元気だった	元気じゃなかった

新出語彙

【名詞】
運動会
ガス
～会社[がいしゃ]
～弁
ごみ
燃えるごみ
国会議事堂
場所
財布
缶
瓶
フリーマーケット
ボランティア
盆踊り
平日
横
置き場

【動詞】
★Ⅰグループ
(荷物が)片付きます
(ごみを)出します
(時間に)間に合います
さがします
拾います
やります
★Ⅱグループ
(時間に)遅れます
診ます
★Ⅲグループ
連絡します

【形容詞】
気分がいい
気分が悪い

【その他】
直接
今度
ずいぶん
いつでも
だれでも
どこでも
なんでも
あんな～
こんな～
そんな～

Note

話し手の心の動きが見えるとき
例)「頭が痛い…」
　＝独り言
「頭が痛いんです…」
　＝話しかけている

書き言葉「～のです。」
話し言葉「～んです。」

・理由づけ…断りの機能
＊説明を加えたい

・関心・疑問・驚き・感心した時
＊どうして～んですか。

事実や情報を言うときには使えない。
＊時刻・名前・日付 etc

⑤丁寧な依頼
A：前件…依頼のモダリティ
　後件…アドバイスを求めてる
「V てください。」
　↓丁寧
「V ていただけませんか。」
＊日本人は後件の省略が多い

B：前件…状況説明
　後件…勧誘
例)みんなでゲームをやるんですが、一緒にやりませんか。

⑥アドバイスを求める
「～んですが…。」
→返事を待っている「が」
※日本語では最後まで言わなくても相手が察する文化

教案例

日時：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日(〇)
クラス：初級・〇〇人（出身・年齢・職業・学習目的）
教材：みんなの日本語　第二版
項目：第８課　前半
　　形容詞の導入、活用
目標：形容詞の活用を学ぶ。
　　物の様子を話せるようになる。

忘れずに
書きましょう

【自分の名前】

新出語彙
【名詞】仕事、桜、生活、食べ物、所、町、山、寮、レストラン
【い形容詞】青い、赤い、新しい、熱い、暑い、いい、忙しい、おいしい、大きい、おもしろい、黒い、寒い、白い、高い、楽しい、小さい、冷たい、低い、古い、難しい、易しい、安い、よい、悪い
【な形容詞】きれい(な)、元気(な)、静か(な)、親切(な)、すてき(な)、にぎやか(な)、ハンサム(な)、暇(な)、便利(な)、有名(な)
【その他】あまり、結構です、お元気ですか、結構です、そして、どう、とても

T＝教師、S＝生徒、WB＝ホワイトボード

段階	学習事項	教室活動	教材・留意事項
語彙導入 (10 分)	新出語彙	T:おはようございます。きょう、8 課を勉強します。 　じゃ、始めましょう。 発音に注意しながら形容詞は文字カード・名詞は絵カードを提示し、 教師の発話の後、コーラスさせる。 特に「冷たい」「いい」「にぎやか」「便利」「有名」などは発音に気を付けて２,3 回繰り返して発話させる。 その後、文字カードを見せ「〇〇さん、どうぞ。」と個別に当てて読ませ、発音を確認していく。	文字カード 絵カード コーラス 文字カード（形容詞）
導入 (10 分)	な形容詞	T:【な形容詞】を勉強します。 　ここは教室です。(少し黙って耳を澄ませる)静かです。 　教室は静かです。 　(教室の窓を開ける) 　町です。(耳を澄ませる)（車の音などを聴く）にぎやかです。 　町はにぎやかです。 　(窓を閉めて)静かです。(窓を開けて)にぎやかです。 ＊N は【な形】です。文型提示 T:N は【な形容詞】です。(窓を閉めて)教室は静かです。どうぞ。 S:教室は静かです。 T:(窓を開けて)町はにぎやかです。どうぞ。 S:町はにぎやかです。 T:(窓を閉めて)教室です。教室は静かですか。 S:はい、静かです。(答えられない場合は教師が答え、コーラスする) T:いいです。「教室は静かですか。はい、静かです。」どうぞ。 S:教室は静かですか。はい、静かです。 T:じゃ、教室はにぎやかですか。 S:いいえ…(答えられなくてもよい) T:いいえ、にぎやかじゃありません。です。(板書しながら)“です”を“じゃありません”にします。名詞を勉強しましたね。 　〇〇さん、〇〇さんはアメリカ人ですか。 S1:いいえ、わたしはアメリカ人じゃありません。 T:いいですね。“な形容詞”は名詞と同じです。(WB を指し示し) 　「にぎやかです」「にぎやかじゃありません」です。練習しましょう。 　「教室はにぎやかですか。いいえ、にぎやかじゃありません。」どうぞ。 S:教室はにぎやかですか。いいえ、にぎやかじゃありません。 （「いいえ、にぎやかじゃありません。静かです。」と答えてもよい。）	 文字カード貼る「教室は静かです。」 文字カード貼る「町はにぎやかです。」 板書 コーラス×２ コーラス×２ 板書(文字カードに“か”を書く) 「はい、【な形】です。」の文字カード貼る コーラス×２ 板書 「いいえ、【な形】じゃありません。」の文字カード貼る コーラス×２ 文字カードを整理して貼りなおす （WB の右半分に）
練習 (15 分)		T:N は【な形】ですか。 　―はい、【な形】です。 　―いいえ、【な形】じゃありません。 T:〇〇さん、教室はにぎやかですか。 S1:いいえ、にぎやかじゃありません。 (答えられない場合は、文字カードなどを指し示して答えを促す) T:△△さん、教室は静かですか。 S2:はい、静かです。 何人かに当てて、確認する。 T:マリーさんです。マリーさんの部屋です。どうですか。	 絵カード

		S:きれいです。 T:そうです。「マリーさんの部屋はきれいです。」どうぞ。 S:マリーさんの部屋はきれいです。 T:田中さんです。田中さんの部屋です。どうですか。 S:きれいじゃありません。 T:そうです。「田中さんの部屋はきれいじゃありません。」どうぞ。 S:田中さんの部屋はきれいじゃありません。 ほかの“な形容詞”も同様に絵カードを提示して肯定文・否定文を作る。	 コーラス コーラス それぞれに絵カードを用意する
導入 (15 分)	い形容詞	T:【い形容詞】を勉強します。 これは雑誌です。きのう買いました。きのうこの雑誌を買いました。 新しいです。 「この雑誌は新しいです。」 これも雑誌です。去年買いました。去年この雑誌を買いました。古いです。 「この雑誌は古いです。」 この雑誌は新しいです。この雑誌は古いです。 新しいです。古いです。 ＊N は【い形】です。文型提示 「この雑誌は新しいです。」どうぞ。 S:この雑誌は新しいです。 T:「この雑誌は古いです。」どうぞ。 S:この雑誌は古いです T:(新しい雑誌を提示して)この雑誌は新しいですか。 S:はい、新しいです。 T:いいです。「この雑誌は新しいですか。はい、新しいです。」どうぞ。 S:この雑誌は新しいですか。はい、新しいです。 T:(古い雑誌を提示して)じゃ、この雑誌は新しいですか。 S:いいえ、古いじゃありません。(などの答えが予想される) T:違います。(板書しながら)「古いです」“い”を取って“くない”にします。	レアリア(新しい雑誌) WB に文字カードを貼る 「この雑誌は新しいです。」 レアリア(古い雑誌) WB に文字カードを貼る ２冊を提示しながら 板書 コーラス×２ コーラス×２ 「はい、【い形】です。」の文字カード貼る コーラス×２ 板書「古~~い~~です。」 ↳くない
練習 (20 分)		いいえ、ふる~~い~~くないです。 「古いじゃありません」じゃありません、「古くないです。」です。 練習しましょう。 「いいえ、古くないです。」どうぞ。 S:いいえ、古くないです。 古い雑誌と新しい雑誌をその場で選んで出し、答えさせる。 T:○○さん、この雑誌は新しいですか。 S1:はい、新しいです。 T:△△さん、この雑誌は新しいですか。 S2:いいえ、新しくないです。 など何人かに当てて答えさせる。 い形容詞の文字カードを使い、フラッシュカードとして否定文を作る練習をする。 T:(文字カードを見せながら)青いです。どうぞ。 T/S:(最初は一緒に)青くないです。 全ての変換が終わったら、カードをシャッフルし、今度は個別に当てていく。 T: (文字カード「赤いです」を見せながら)○○さん、どうぞ。 S1:あかくないです。 T:いいですね。(カードをめくり)じゃ、△△さん、どうぞ。 S2:あたら…？ など答えられない生徒がいたら、WB を指し示し、自力で答えさせ、その後、もう一度繰り返す。 (つづく)	「いいえ、【い形】~~い~~くないです。」 強調 コーラス×２ レアリア 文字カード（い形容詞）＊フラッシュカード 絵カード コーラス